



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.)

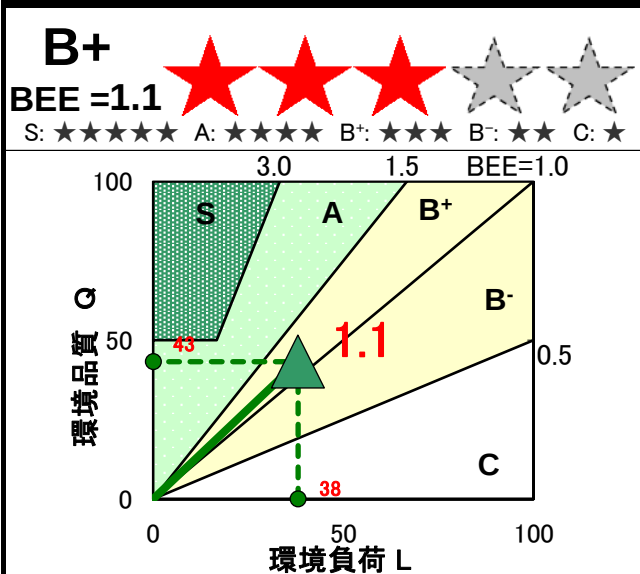
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)大阪市北区天満橋3丁目プロジェクト		
建設地	北区天満橋3丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	769.18	m ²	
建築面積	424.58	m ²	
延床面積	4,348.41	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上13階
完了年(予定)	2022年10月		

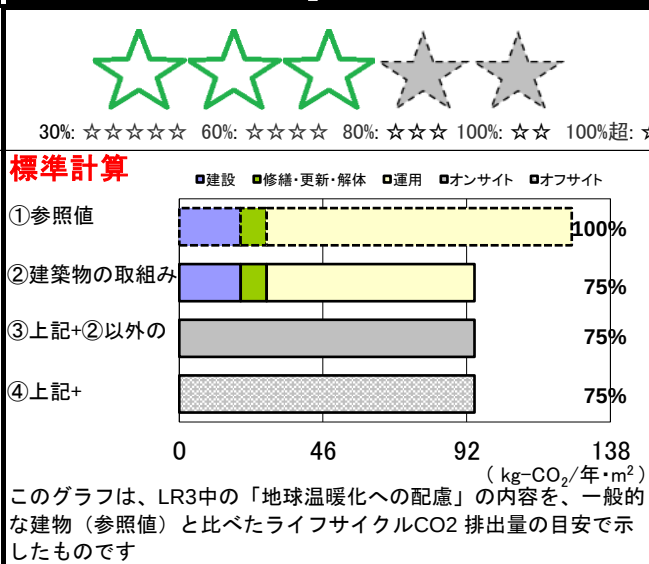
1-2 外観



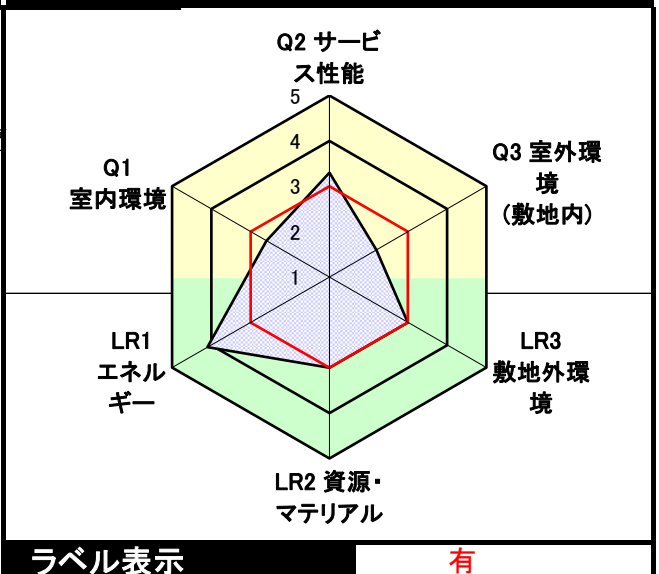
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



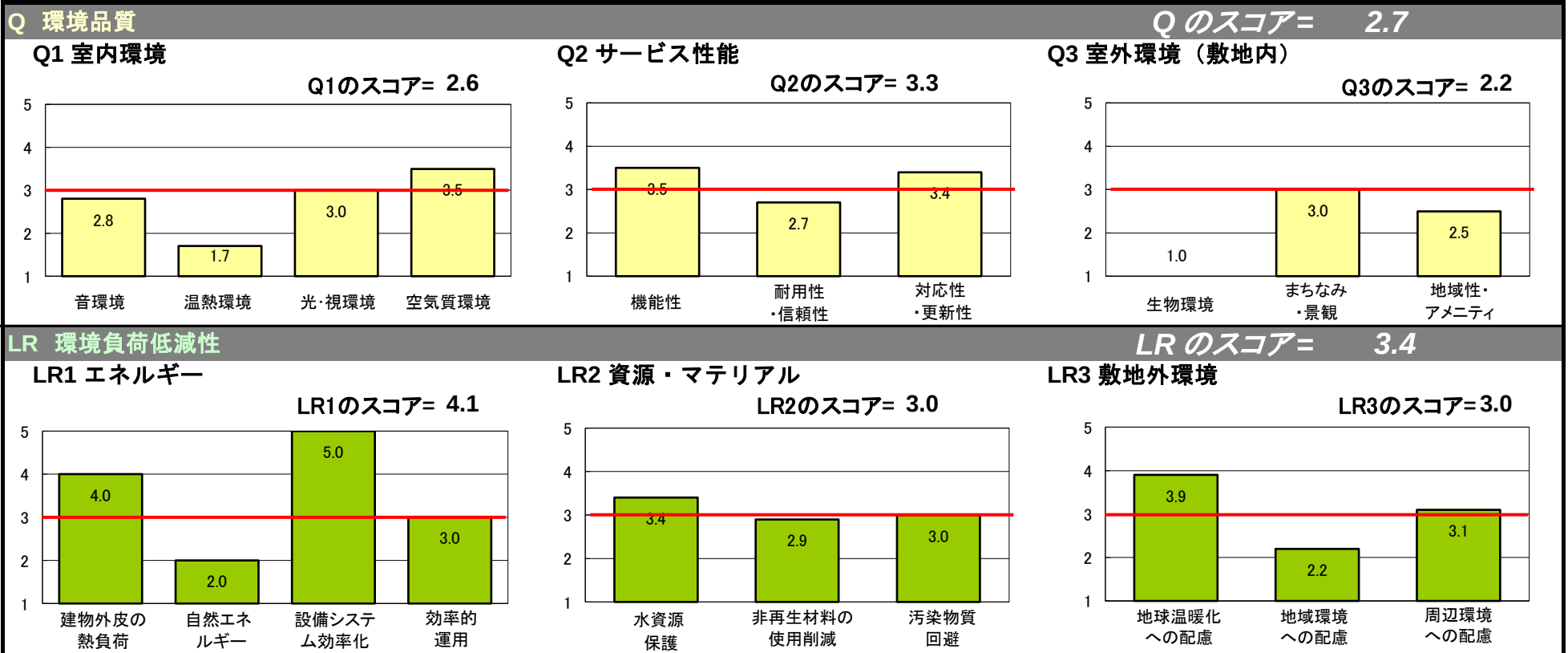
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 住戸の天井高が2.5m以上になるよう階高を設定し、利用者が開放感を感じられるような設計としている。 サッシには、Low-Eペアガラスを採用し断熱性能を高める事で、利用者が快適に過ごせるようになっている。 また、LED照明と省水型住設機器を採用し、省エネルギー、省資源に配慮している。		その他 特になし
Q1 室内環境 各住戸になるべく大きな開口部を設けることで、昼光率等の確保に配慮している。 サッシにはLow-Eペアガラスを採用し断熱性能を高めている。	Q2 サービス性能 階高を2.9m以上に設定し、居室の天井高を高くとれるよう設計している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の空きスペースは、なるべく緑地としている。
LR1 エネルギー 窓サッシにLow-Eペアガラスを採用し断熱性能を高めている。 建物全体の照明器具にLEDを採用している。	LR2 資源・マテリアル 住宅設備には省水型機器を採用しています。	LR3 敷地外環境 1住戸につき1台以上の自転車駐輪台数を確保している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.1

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.9 Low-Eペアガラスなど断熱性能の高い建材の採用
配慮事項	エネルギー消費量を抑える計画としています。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0 空地部分の緑化
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	2.0 風の通り道の確保
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0 建築設備から大気への排熱量を低減
配慮事項	敷地の空きスペースはなるべく緑地としています。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0 Low-Eペアガラスの採用など断熱性能の高い建材の採用
配慮事項	住戸の窓サッシをLow-Eペアガラスとしています。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0 省エネ機器の採用
配慮事項	LED照明を採用しています。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]	
	等級4（相当）	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
	0.71	0.71	-

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 41 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☐ なし ☒ あり <table border="1"> <tr> <td>方位</td> <td>（ 北西 ）</td> <td>高さ（約 20 ）m</td> <td>水平距離（約 6 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> </table>	方位	（ 北西 ）	高さ（約 20 ）m	水平距離（約 6 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位	（ 北西 ）	高さ（約 20 ）m	水平距離（約 6 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 90.0 ）㎡方位（ 南 ） 設置角度（ 30 ）度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 36.0 ）㎡
ウ 設置可能容量	（ 5.4 ）kw
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入
☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☒ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☐ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他 （ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ ）㎡
イ 発電容量	（ ）kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

1 設備導入の検討

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 41 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☐ なし ☒ あり <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>方位</td><td>（ 北西 ）</td><td>高さ（約 20 ）m</td><td>水平距離（約 6 ）m</td></tr> <tr> <td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> <tr> <td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> <tr> <td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> <tr> <td>方位</td><td>（ ）</td><td>高さ（約 ）m</td><td>水平距離（約 ）m</td></tr> </table>	方位	（ 北西 ）	高さ（約 20 ）m	水平距離（約 6 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位	（ 北西 ）	高さ（約 20 ）m	水平距離（約 6 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

ア 建築物の用途	共同住宅
イ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☒ 給湯 ☐ その他（ ）
ウ 設置可能面積	(90.0) m ²
エ 概算年間熱利用量	(195,930) MJ/年
オ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
カ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり (例：設備用基礎の設置) ()

検討結果 ☐ 導入する → 具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

■ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

☐ 日照が確保できない

☐ 年間を通じて安定した熱需要がない

☒ 躯体が荷重に対応できていない

☐ 敷地内に設置する場所を確保できない

☐ 費用負担が大きい

☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする

☐ その他（ ）

ア 集熱パネル面積	() m ²
イ 概算年間熱利用量	() MJ/年
ウ 熱需要対象用途	☐ 冷房 ☐ 暖房 ☐ 給湯 ☐ その他 ()

備考
